

福岡県まちづくり実行委員会 活動報告

報告日:2006年3月13日(月)

報告者:岩田屋ユニオン 大津

開催日 2006年2月10日(金)

開催場所 久留米市ハynesホテル5階

参加者 岩田屋ユニオン 大津 人仁

内 容

久留米市の玄関口である西鉄久留米駅周辺では、バリアフリー工事などの環境整備やイルミネーション点灯など数多くの地域活性化の事業が行われています。このような中、西鉄久留米駅周辺の活性化を促進することを目的にまちづくりセミナーが開催されましたので参加してきました。今回はその報告をします。

西鉄久留米駅周辺の活性化 ~人間都市研究所 富士川一裕

【本日の議題】

タウンマネジメントの活動の活性化
西鉄久留米駅東口を例題とした提案
中心市街地全体の再確認 - コンパクトシティを強める -

(1) タウンマネジメントの活動の活性化

現代社会のテーマ
人的ネットワークの中で「生活環境の回復」を達成する。「生活環境の回復」は21世紀の大きな課題である。
都心部商店街の組織
「ほとめき商店街」の結成(1月26日) 活性化推進の決め手は人的ネットワークの力

(2) 西鉄久留米駅東口を例題とした提案

1階駅前広場のリニューアル
広場に面した店づくりへの取り組み(目的のつくり込み)
広場の利用促進(キioskやイベント)
2階デッキのリニューアル
デッキに面した店づくりへの取り組み(目的のつくり込み)
デッキの利用促進(オープンカフェやフリマ)
人的ネットワークで【目的のつくり込み】を達成する

(3) 中心市街地全体の再確認 - コンパクトシティを強める -

郊外店ではできない「街の魅力」の確認
川辺や高層ビルの最上階や地階などのロケーションが意味を持つ店づくり
特に強化すべき都市機能
飲食交流機能、文化芸術機能、コミュニティ機能
交流拠点としての「六角堂広場」と「東口広場」

まとめ・感想

市街地の活性化にどの様に取り組んでいくべきか、行政の位置付けは、ネットワーク・コミュニケーションの重要性など具体的な提案などを交えながらの講演会だったので、非常に聞きやすく、今後の活動のヒントが少し見えたような気が~